

八雲町立山越小学校  
学校だより  
まごころ

至誠

## 重点教育目標

- 自ら学び ・自分の課題に取り組み続ける子 ・自分の考えや気持ちを表現できる子
- 心豊かに ・挨拶と返事のできる子 ・みんなと協力して取り組める子
- たくましく ・機敏に行動できる子 ・最後までやり遂げる子

第4号 令和4年6月30日発行



## 「そろえる」

生徒指導部 相馬 可奈子

はきものをそろえると 心もそろろう  
心がそろろうと はきものもそろろう  
ぬぐとときにそろえておくと はくときに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと 世界中の人の心も そろうでしょう

長野県にある元福寺の住職であった藤本幸邦さんのこの詩を思い出すたび、私は十数年前の少し苦い記憶を思い出します。

教職について数年、私はある小学校の高学年の担任を受け持ちました。私にとって2回目の高学年でしたが、元気な子が多く、私の指導力が未熟なこともあり、毎日のようにトラブルの絶えない落ち着いた学級でした。なんとかしようとしながら、自分なりに頑張っていたつもりでしたが、子供たちにきちんと寄り添うことが果たして本当にできていたのだろうか、もっとできたことがあったのは・・・と、今でも後悔の気持ちが湧き上がります。

そんな中、私が必ず毎日していたことが「整える」ことでした。ゴミが落ちていたら拾い、向きがバラバラになった机を整え、椅子をしまい、休み時間から戻ってきた子供たちを迎え入れる。子供たちが帰ったあと、机の中や棚をチェックし、家庭に持って帰ってほしい手紙を机の上に置いておく。道具の向きを揃える……。40人近い子供たちが生活する教室ですから、ある程度雑然とすることは仕方ないのかもしれませんが、ゴミが当たり前のように落ちていて誰も拾わなくなるような状況では、子供たちの心も荒んでしまうと、当時の私は必死でした。なんとか2年間担任させてもらい、無事に卒業、その子たちは今25歳くらいになっています。「あの頃は反抗してすみません」と彼らに言われるたび、あのとき頑張っていたことは決して無駄ではなかったのだ、と心が救われる思いです。

教室は子供の心の中を写す鏡だと、その後様々な教室を見て感じています。子供たちが落ち着いて教育活動を行っている教室は、物が整然と並べられ、床がきれいです。また、私達教師が率先して整える姿を見せていけば、子供たちも整える意識が身につくことを痛感しています。子供たちに「なぜ整理したり、きれいにしたりしなければいけないのですか？」と言われるたび、私は「だって教室や靴箱がきれいだったら安心するでしょう？」と答えています。そして、お世辞にも整理整頓が得意なわけではない私ですが、山越の子供たちからは「先生、きれい好きだもんね。」というありがたい言葉をもらっています。そんな大人たちの必死な姿を見て、子供たちが何かを感じ、進んで「そろえて」いってくれたら、幸せです。

今後も子供たちと心をそろえ、共に教育活動を行ってまいります。そんなことを思いながら、今日もバラバラになった我が家の玄関の靴を無言で揃える日々です。

## 7月行事予定

- |                              |                                 |
|------------------------------|---------------------------------|
| 1日(金) 写生会 児童会                | 21日(木) 宿泊研修・修学旅行交流学习            |
| 5日(火) 耳鼻科検診                  | 22日(金) 午前授業(給食なし)<br>大掃除 夏休み前集会 |
| 7日(木) 全校集会                   | 23日(土) 夏休み開始(～8月21日)            |
| 8日(金) 参観日 全体懇談<br>個人懇談 給食試食会 | 25日(月) ICT 家庭学習 meet 朝の会        |
| 11日(月) 避難訓練(火災)              | 8月19日(金) ICT 家庭学習               |
| 13日(水) 5時間授業                 | 22日(月) 午前授業(給食なし)<br>夏休み明け集会    |
| 18日(月) 海の日                   |                                 |

### 学習風景（1・4年）

1年生は、学校生活にも慣れ、元気よく生活しています。国語の学習では、ひらがな練習を丁寧に書いたり、音読でははっきりとスラスラ読んだりと頑張りがたくさん見られます。ある日の音読でのことです。「教科書を持って読みましょう。」と声をかけたところ、「先生！もう覚えましてよ！教科書を見なくても言えますよ！」とのこと。試しに教科書を見ないで読んでみると、見事に何も見ないで読むことができました。担任はびっくりしました。読み終わった後のメイさんと花楓さんの満面の笑顔が大変微笑ましかったです。音読は学習の基礎基本の一つです。繰り返し正しく読むことを通して、集中力や正確に読みとる力が高まるよう、継続して取り組んでいきます。

4年生は、メリハリをつける意識が少しずつ高まっています。集中する時は真剣に、楽しむ時は元氣いっぱいに取り組んでいます。算数では、角の大きさを学習しました。初めは分度器の使い方に苦戦していましたが、角度を正しく測るための3つのステップを一つ一つ確認しながら取り組むことで、分度器の使い方に慣れてきました。ですが、時間が経つとめもりの読み方や角の大きさを求める場所を間違えてしまうことがあります。分度器を使って、正確に測ったり作図したりできるように、今後も繰り返し練習していきます。家庭学習の他にも学習プリントを出す予定ですので、家で頑張っているときには背中を押してあげてください。

### 主体的に取り組んだ運動会（5・6年）

6月12日の運動会はたくさんの方にご声援・ご協力いただき、無事に行うことができました。当日、持てる力を最大限に発揮した子供たちですが、その前には一生懸命練習を積み重ねてきた期間がありました。

運動会まであと少し、となった頃に、全員で行うリレー練習がありました。各チームに分かれての自主練習の時間です。人間は「自由にしてよい」と言われたとき目的や課題を自分の中にもっていないと、何をすればよいのかわからなくなることがあります。しかし、山越の子供たちは自分達で練習を考え、高学年を中心にしてスタートの練習や入れ替わりの練習をしたりしていました。運動会が初めての1年生にも一緒に声をかけて行う姿を見て、これは今年だけの成果ではなく、これまでの学校生活で培ってきたものだと感じました。小学校生活もあと1年、2年とゴールが見えてきた5・6年生。今後も日々の成長を積み重ねていけるよう御支援・御協力のほどよろしく願いいたします。



### 運動会成功に向けて（特別支援学級）

今年度の運動会も無事に終了しました。天気にも恵まれ、運動会を安全に実施できるように、今年も平田さんや伊藤さん、校長先生に早い時期からグラウンドの除草や整備を行っていただきました。

また、2年生の2人も1年生と一緒に広いグラウンドの草むしりをしました。「先生、こんなにとれたよ！」と嬉しそうに報告していました。

その一方で「たくさんあってきれいにするのが大変だった。」とも話していました。知らないうちにグラウンドがきれいになっているのは、陰で支えてくれるたくさんの人たちがいるからだということに気付けた、よい機会になりました。運動会への御協力、ありがとうございました。



人権の花の取組で、花の苗を植えました。みんなで、大切に育てていきます。

7日、東野小学校と一緒に、田植え体験をしました。秋には、稲刈りもする予定です。

